

年間約7TB 増え続けるSharePointデータを 自動アーカイブし、年間約260万円を純削減 年2回の全社棚卸しも不要に

AvePoint OpusとAvePoint Cloud Backupで、容量最適化・データ保護・運用自動化を一体化



事例のポイント

年約7TB増えるSharePointデータを自動アーカイブ

初回約10TB、容量を約38TBから約30TBへ

最も緩い条件でも削減効果を確認

Opus利用料込みで年間約260万円を純削減

ユーザーに作業を求めない運用へ

全社棚卸し年2回 ▶ 0回、問い合わせ0件

取材協力

IT本部 IT第4部

並木 勇人 氏

対象環境

Microsoft 365

導入製品

AvePoint Opus AvePoint Cloud
Backup for Microsoft 365
AvePoint Opus

ファイントウデイがAvePointを選んだ理由

01 ファイル単位で柔軟にアーカイブ

サイト全体ではなく、更新日などの条件で
必要なファイルだけを自動アーカイブ。

02 効果を事前に数字で示せる

ルール別のアーカイブ量と
追加ストレージ回避額をシミュレーション。

03 2製品を同じ基盤で一体運用

OpusとCloud Backupを一つの管理ポータルで運用し、
新規サイトも自動保護。

容量管理を「人の依頼」から「ポリシー」へ アーカイブとバックアップで運用品質を高める

Microsoft 365移行後、ファイントゥデイが直面したのは、
画像・動画を中心に年間約7TB増えるSharePointデータと保管コストでした。
全社への棚卸し依頼やバージョン履歴の見直しだけでは増加を止められず、
契約更新までに継続的な対策を決める必要がありました。

課題

年2回の棚卸しでも追いつかない容量と 単価が同時に上がる構造

データは年約7TB増加

マーケティング関連の
画像・動画を中心に、
ファイルデータが
継続的に増加。

棚卸し効果は部門対応に依存

対象データの
削除の進み方は各部門の
協力状況に左右された。

契約更新で単価も上昇

容量とライセンス単価が
上がり、ストレージコストが
増え続ける構造に。

選定

効果を事前に数字で示せることが決め手 2製品を同じ管理基盤で一体運用

Opusでルール別のアーカイブ量と追加ストレージ回避額を可視化。
さらに、新規サイトを自動保護できるCloud Backupを同じAvePointの基盤で
運用できる点を評価しました。

解決

自動化・一体運用・段階的な改善でコストと 現場負担を抑制

約38TB ▶ 約28TB

初回のOpusアーカイブ量はなんと10TB

現場に削除作業を依頼せず、ポリシーに沿って継続的に整理。

0回

Cloud Backup・Opus導入後のユーザーからの問い合わせは0件

問い合わせのない分かりやすい操作性

約260万円/年 削減

ライセンスの高騰に対応

運用ルールを継続改善し、さらに削減できる見込み。

お客様の声



IT本部 IT第4部 並木氏

最も緩い条件でも、年間約260万円の純削減

「今後、条件を最適化してアーカイブ量を増やせば、削減額はさらに大きくなると
考えています。年間約260万円は、最低限得られている効果という位置づけです」

※金額・容量はいずれも取材時点の概算です。